

CSR報告書
2016～2017

目次

内容	頁
CSR 方針.....	4
企業理念.....	5
アイデンティティ.....	6
組織統治.....	7
コーポレート・ガバナンス.....	8
コンプライアンス.....	9
リスクマネジメント.....	10
BCP.....	11
人権.....	13
環境への取り組み.....	14
労働安全衛生への取り組み.....	15
公正.....	16
品質.....	17
エコデザイン（研究開発，複合化技術）.....	18
コミュニティ.....	19
社会福祉.....	21
NPO 支援.....	22

CSR 方針

- ▶ 私たちは、豊かな社会の実現に向けて、社会の良き一員として、存続し続けることができるように、法令を遵守するだけでなく、社会倫理に則って行動します。
- ▶ 法令を遵守することは元より、社会ルール、地域社会・海外における文化・慣習を尊重し、良識ある行動を心がけます。
- ▶ 国際行動規範に則り、人権の保護を支持し、尊重し、人権侵害に加担しません。
- ▶ 労働基準法など関係法令を遵守し、健全で適正な労働条件、安全で衛生的な職場環境の実現に努めます。
- ▶ 環境課題である「汚染予防」「持続可能な資源の利用」「気候変動の緩和・気候変動への適応」「環境保護、生物多様性、自然生息地の回復」に積極的に取り組みます。
- ▶ サプライヤーとの取引等について、社会常識と誠実さをもって公平かつ公正に行います。
- ▶ グリーン調達並びに CSR 調達に努めます。
- ▶ お客様とお互いの情報を共有し、お互いの価値観を高めあいながら品質の良い、利便性の高い商品を市場に継続して供給していきます。
- ▶ 開発・設計・製造・保管・販売に当っては、お客様の安全を第一に考え、製品の安全に関する法律および安全基準を遵守するとともに、より高度な安全性の実現に努めます。
- ▶ 優れた品質の製品を提供し豊かで安全な社会の実現に貢献することはもとより、地域社会への協力、罹災地域への支援等の社会貢献活動を通して社会の発展に寄与します。

複合化技術で、ゆたかな暮らしを支える

フジクラコンポジットは、豊かな暮らしと安心を支える製品を生み続けます。

お客様が潜在的に求めているものは？ どのような技術提案がお客様の心に響くのか？

経営理念

技術・創造・いきいきコミュニケーションを大切に、人々の安心を支え社会の豊かさに貢献します。

事業理念

わたしたちはお客様と相互に技術力を高め合いながら、設計技術・複合化技術・加工技術により、新たな可能性を引き出し、高機能製品を提供します。

品質方針

消費者重視・製品安全の確保のために、品質至上に徹し、優れた製品を提供し、社会に貢献します。常にお客様の満足する製品の提供を目的とします。

企業組織の特徴

当社の理念を共有し、かつ自立した個人が、お互いの独自性と異質な発想をぶつけ合いながら業務レベルを高めています。海外拠点と主要子会社を含めた組織力で、技術のSeedsを育てています。また、プロジェクトごとの業務スピードアップにも日々勤めています。

アイデンティティ

マインド アイデンティティ

[経営理念]

技術……………「技術の藤倉」の発展的継続

創造……………「堅実経営の藤倉」を磨いたもの

いきいきコミュニケーション…「人の和の藤倉」をより具体的に表したもの

[事業理念]

設計技術………ゴム配合を基盤技術として現有材料、繊維など組み合わせ、可能性を引き出す。

複合化技術………ゴムと金属、ゴムと布などの複合化技術により可能性を引き出す。

加工技術………より速く、より安く、より高品質に製造するための技術を駆使する。

ビヘイビア アイデンティティ

独自性を活かすために……

「事業部門毎の使命の明確化」、「意思決定のスピード化」、「責任と権限の明確化」

資源を共有し総合力を発揮するために……

「情報伝達のスピードアップ」、「人材教育と人事交流」、「情報収集方法の確立」

ビジュアル アイデンティティ

コーポレートブランドネーム 『 FUJIKURA COMPOSITES 』

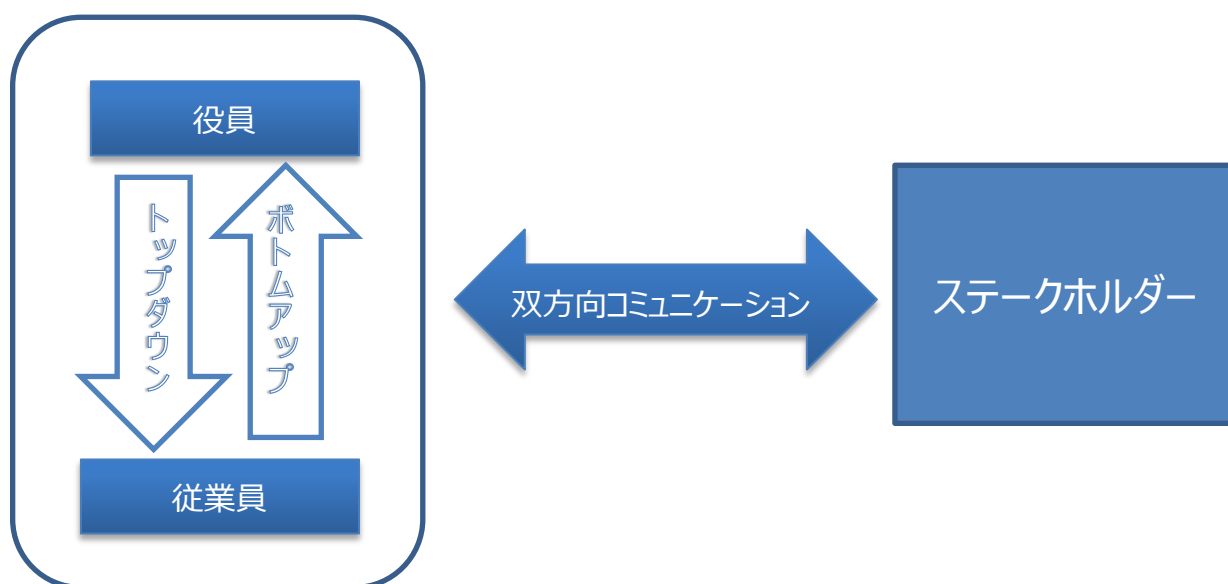
当社の製品が“複合化技術”で造られていること、そして当社が“事業部門毎の独自性を活かしながら経営資源を共有する組織”であることから FUJIKURA COMPOSITES としました。



組織統治

企業の存続および企業価値の向上のために、業務の適正を確保する体制の確立を目的として当社の規模、事業の特性を踏まえ、内部統制の整備及び運用についての基本方針を定めています。

内部統制の基本方針において、株主、投資家、顧客、消費者、従業員、取引先、地域社会等のステークホルダーの保護のために業務の有効性・効率性、法令遵守、資産の保全、適正な財務報告の確保を目的として、統制環境、リスクの評価と対応、統制活動、情報と伝達、モニタリング、IT への対応の6つの構成要素について、全ての役員・従業員が実践しなければならない業務プロセスを含むシステムを整備し運用しています。

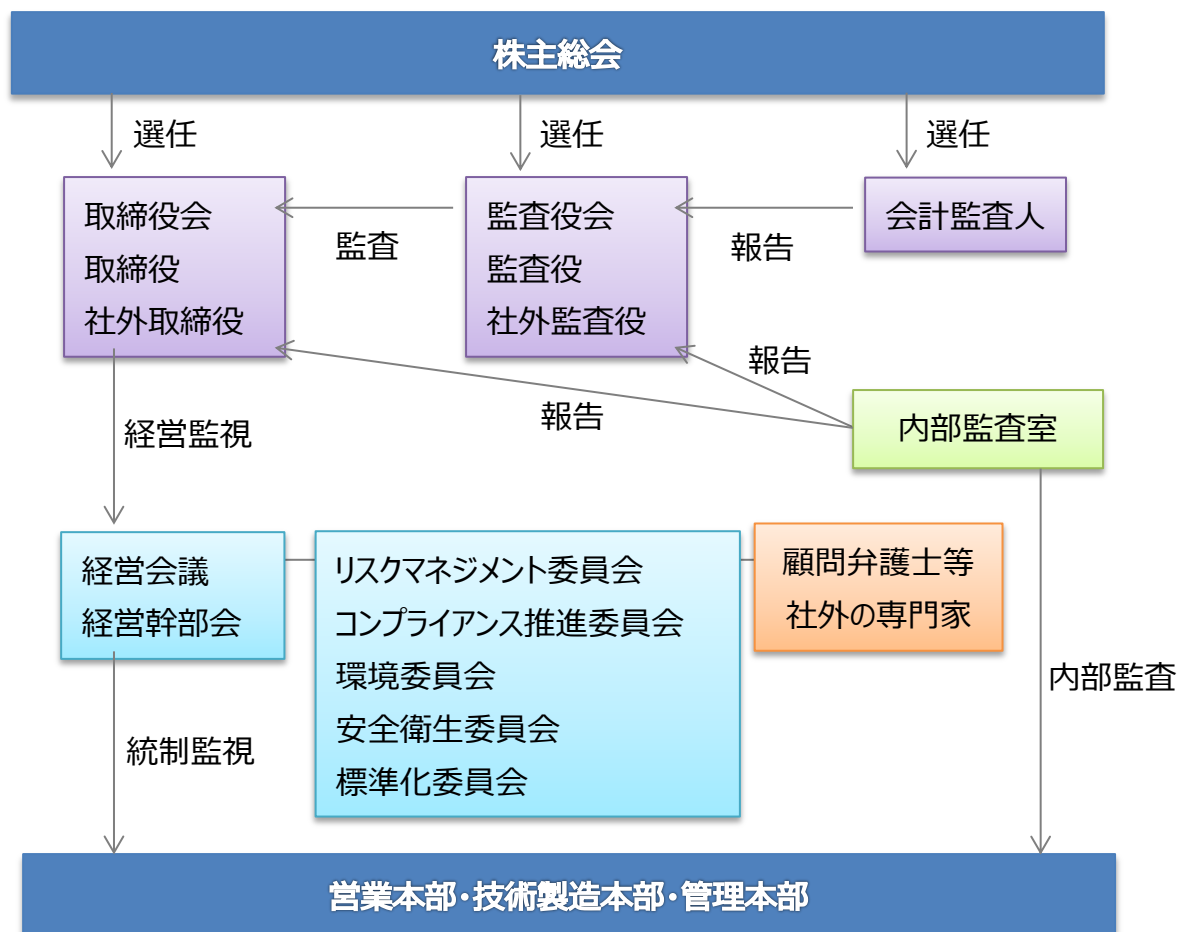


コーポレート・ガバナンス

業務の効率性・透明性・公正性において適正を高め、ステークホルダー全般の信頼に応えつつ、コーポレート・ガバナンス体制の強化に努めております。

当社の事業環境、経営について、十分な見識を有する社外取締役及び社外監査役をメンバーとし、かつ、法令、定款に適合した規定類に則して取締役会、監査役会等を運営することで、迅速な意思決定と業務執行への十分な監督、並びに投資家に対する透明性を確保することができると考え、現在の体制を採用しております。

コーポレート・ガバナンス体制図



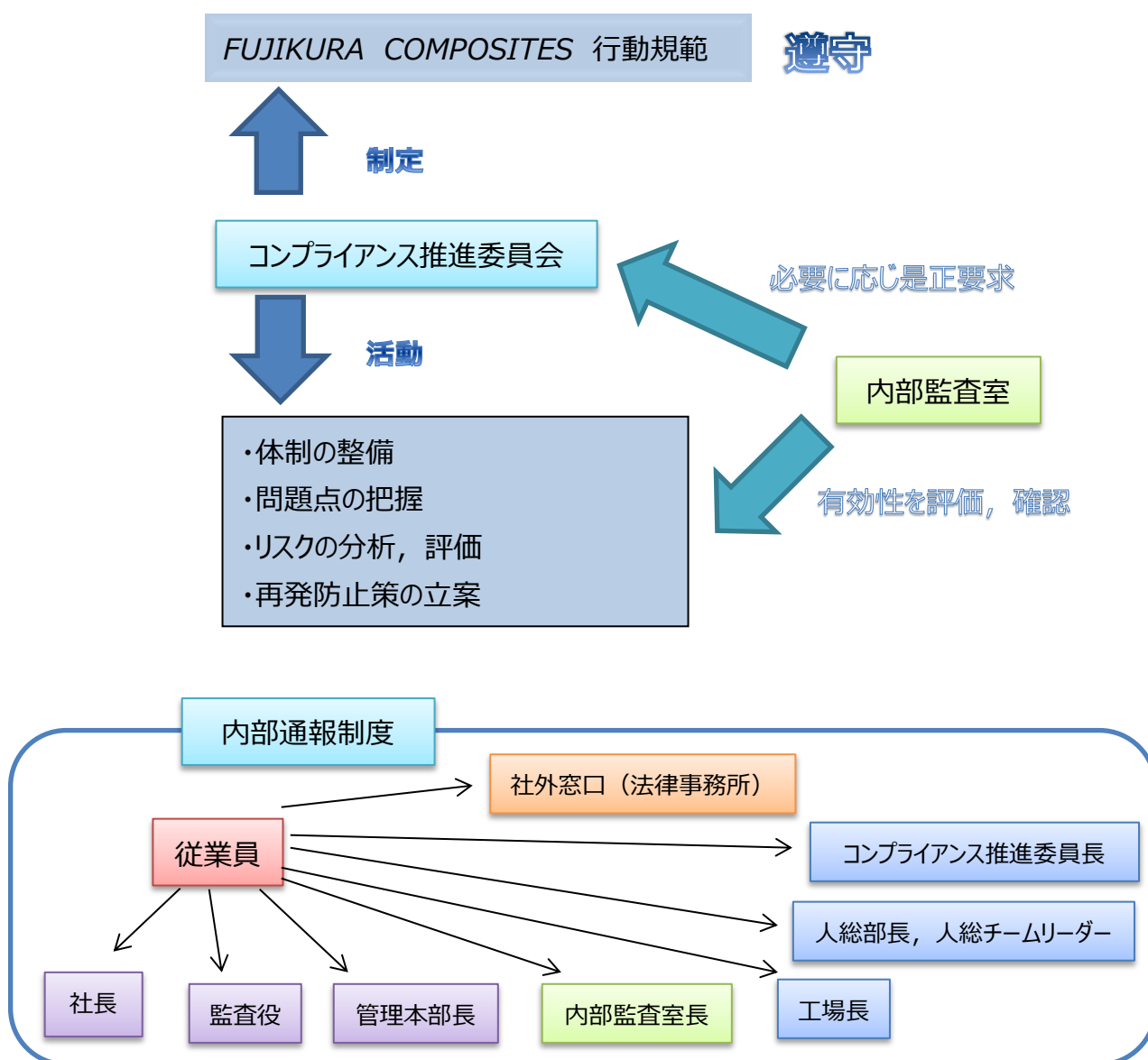
コンプライアンス

法令及び社会倫理の遵守を進めコンプライアンス体制を整備するため、コンプライアンス推進委員会を設置し、その柱として「FUJIKURA COMPOSITES 行動規範」を制定し、これを全役職員が遵守することとしており、これを基礎としてコンプライアンス体制を構築しています。

コンプライアンス推進委員会では、国内外および関連子会社のコンプライアンス体制の整備と問題点の把握、コンプライアンス上のリスクの分析・評価、再発防止策の立案を行っています。

また内部通報制度により複線的な情報伝達経路を定めており、社長、監査役、管理本部長、コンプライアンス推進委員長、内部監査室長等への直接的情報伝達が可能となっています。

内部監査室は、コンプライアンス体制の整備・運用の状況を監査して有効性を評価し、必要に応じて是正を要求するとともに、是正処置による有効性の回復の確認を行います。



リスクマネジメント

事業リスク、災害リスク、品質・環境リスク、安全衛生リスク、不正リスクなど、リスクの種類に応じて設ける管掌部門及び専門委員会がリスクを内包する部門と協力して、グループ全体にかかる重要なリスクの継続的な識別、分析、評価、対応策の検討及び検証を、リスクマネジメント委員会の管理下において、

- ▶ リスクマネジメントに関する事項の統括、調整
- ▶ リスクの分析とリスクヘッジ計画の検討、経営会議等への報告
- ▶ リスクヘッジの進捗確認
- ▶ リスクヘッジ実施部門への支援
- ▶ リスクおよびリスクマネジメントに関する情報の収集と提供

など、リスク管理を横断的かつ統合的に行っております。

リスクマネジメント

- 事業リスク（材料調達、金利、為替、データ消失など）
- 災害リスク（自然災害、設備損壊、火災、伝染病など）
- 品質リスク（賠償責任、製造物責任など）
- 環境リスク（環境汚染、騒音など）
- 安全衛生リスク（労働災害、通勤途上災害など）
- 不正リスク（法令違反、情報漏洩、スキャンダルなど）

自然災害や突発的な事故などが発生した際、許容限界以上のレベルで事業を継続させ、許容される期間内に操業度を復旧させることをCSRの重要なテーマの一つとして取り組んでいます。

事業継続計画(BCP)を策定するに当たり、事業継続基本方針を定め、有事の際の事業継続マネジメントシステム(BCMS)を確立しています。

また毎年、BCPの見直しを行い、事業復旧の優先事業や目標復旧時間等を明確にしています。

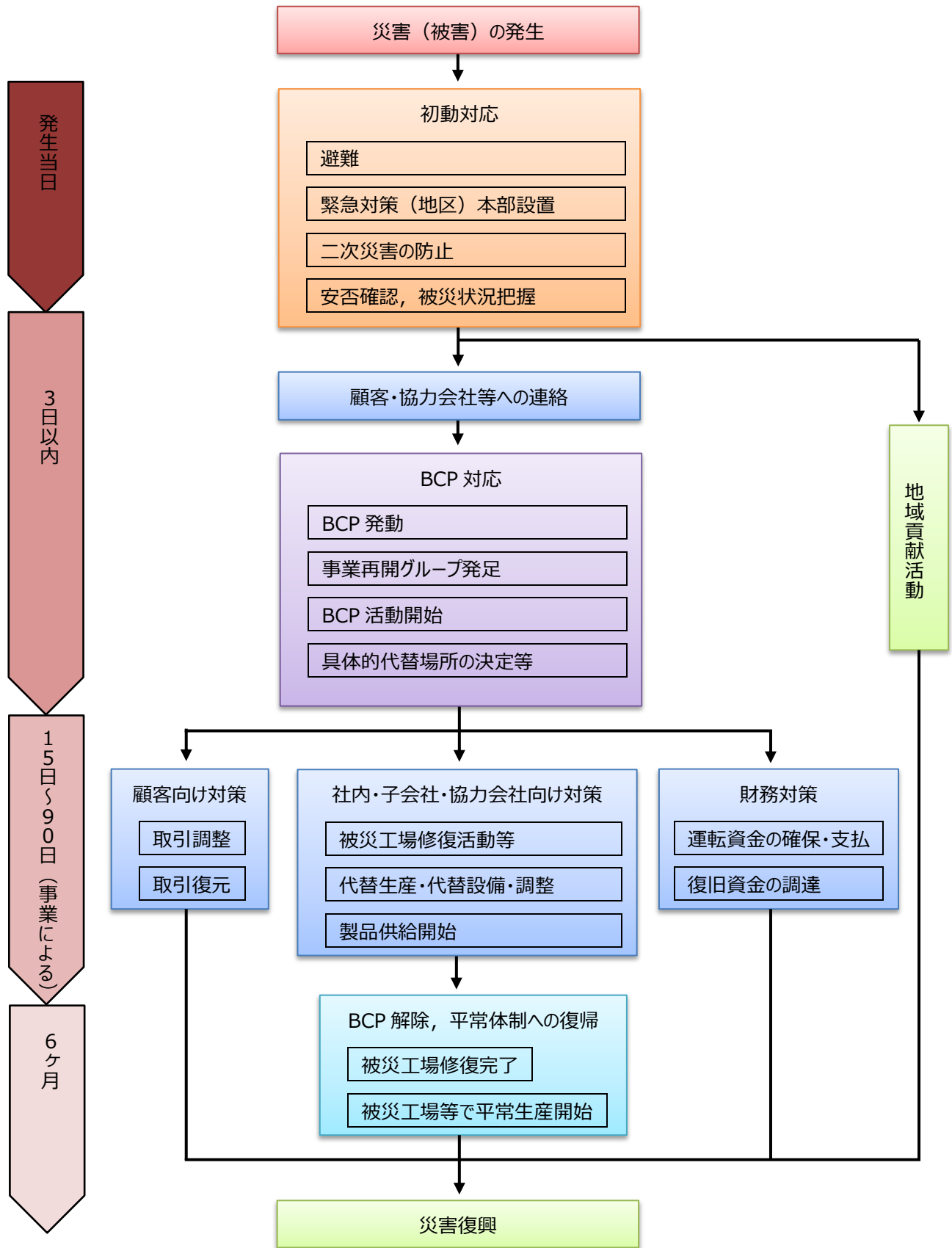
事業継続基本方針

- 1) 社員および家族の安全を最優先に確保する。
- 2) 会社機能の早期回復を目指し、事業継続のために必要な確認をし、労働に供する人材の確保をし、生産を整える。
- 3) 社会インフラや社会復帰のため、更には経済的影響の大きい当社の機能部品の生産を優先的に立ち上げ、社会全体の早期回復に貢献する。
- 4) 事業継続計画を策定し、緊急事態発生時に早急に移行に移すことができるよう事前に計画的に訓練する。
- 5) 社会情勢の変化、技術の進歩、法制度の改定に対応するため、事業継続計画を継続的に更新する。

事業継続計画(BCP)

当社は、年度初めに定める事業継続計画を対象とする重要事業の生産ラインが被害を受けた場合は、他事業の生産に必要なリソース（生産設備、原料、要員、他）を必要に応じて振替、該当事業の生産および供給の継続を最優先します。

BCP発動時のフロー概略図



基本指針

"法令を遵守することはもとより、社会ルール、地域社会・海外における文化・慣習を尊重し、良識ある行動を心がける。"

- ・他者を誹謗中傷したり、社会的差別につながる言葉を一切使用したりしない。
- ・労働基準法など関係法令を遵守し、人権と結社の自由を尊重し、健全で適正な賃金、労働時間、職場環境を保つとともに不当な差別や労働の強制をしない。また児童を労働に使用してはならない。
- ・セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等の禁止
- ・個人情報の秘密厳守
- ・適切な人事（合理的な採用、公正な考課と異動・昇格、適切な育成）

人権の尊重

当社が事業を行うすべての国、地域において、市民的及び政治的権利、経済的及び社会的並びに文化的権利、労働における基本的原則及び権利などの人権を尊重し、事業を行う中で自ら侵害しないと同時に児童労働、自由意思によらない拘束による労働、違法な低賃金など他者（社）の人権侵害から利益を得ない。

事業を行う中で予想される人権侵害を回避するために、社員に対する人権教育に努めるとともに、侵害を発見し是正できる仕組みを設ける。

国際行動規範（世界人権宣言、国連グローバルコンパクトなど）に基づき、行動指針等を制定。

環境への取り組み

さまざまな事業活動は地球環境という「恵み」を土台にすることで成立しています。フジクラコンポジットは常にそのことの大切さを全社員が認識しています。当社は過度な規模拡大を求めるのではなく、ゴム加工および素材複合化という独自の事業活動を深く掘り下げながら環境負荷も抑制し美しい環境を次世代に残したいという使命感を強く持っています。

環境保全活動

本社、主要営業所及び工場にて環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得しております。

生産活動に伴う環境影響を抽出し、継続的な改善活動を実施しております。

主要テーマとしては省エネ活動、廃棄物削減活動、地球温暖化対策（CO₂ 排出削減）、VOC 排出量削減、化学物質管理などを取り上げております。

情報提供方法として、環境報告書でのデータ開示、地域住民を対象にした環境コミュニケーションなどを実施してまいりました。

環境目標

1) 省エネについて

2010 年度を基準に 2015 年度まで、全社で 5%減単位の改善を行う。

2) 地球温暖化対策について

2008～2012 年度の 5 年平均における CO₂ の排出量を 1990 年度に対して 10%削減する。

3) 廃棄物削減について

埋立産廃削減：全社で 2010 年度を基準に 2015 年度までに総量で 10%削減する。

4) VOC（揮発性有機化合物）排出ガス削減

総排出量を 2000 年度基準に 2015 年度までに 50%削減する。

5) リサイクルについて

ユーザー産業等と連携をとりつつ、回収、リサイクルに関する調査、分析、研究を進め、廃ゴム製品のリサイクル向上に取り組む。

労働安全衛生への取り組み

中央安全衛生委員会の方針に基づき、各事業所毎に災害ゼロを旨とした災害予防活動の促進、最近頻発している地震等の緊急事態に対応する訓練、社会的要請である環境改善に対する取り組みをあげて安全衛生活動を展開していきます。

安全衛生活動

安全・衛生活動は全ての活動において優先されるものであり、企業活動の基本です。安全・衛生活動を無視してはお客様の要求を満足する製品を供給することはできません。そのためには安全衛生活動を充実させ、安全教育や危険減の特定、予防措置を行うことによって、作業者を「危険」から守る取り組みを行っています。また、衛生活動であるメンタルヘルス、受動喫煙、メタボリックシンドローム問題等にも積極的に取り組んでいきます。

労働安全衛生マネジメントシステムによる活動（OHSAS18001）

2010年度、全社で安全衛生マネジメントシステムのOHSAS18001を導入し、リスクアセスメントを進め、災害と疾病が発生してから改善するより、発生する前に対策を実施する活動を進めています。安全衛生活動に終わりはなく、常に継続的改善を行ない、より安全で快適な職場作りを進めています。また、精神衛生面の活動にも積極的に取り組んでいきます。

環境・労働安全衛生（OH&S）方針

- 1) 全ての事業活動において環境・労働安全衛生マネジメントシステムを確立し、継続的に改善を行い環境負荷軽減、汚染の予防及び労働安全衛生維持向上に努めます。
- 2) 全ての事業活動における環境側面及び危険源の特定を行います。その為にはその存在を認識し、その特性を明確にするプロセスを構築し、是正・予防に努めます。
- 3) 環境負荷軽減及び安全衛生の目標と改善計画を文書化し、その実施状況を確認し、年度毎に見直しを行います。
- 4) 環境及び労働安全衛生関連の法律、条例、協定及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
- 5) 環境・労働安全衛生方針を組織で働く人又は組織のために働くすべての人に周知し、環境保全及び労働安全衛生への意識を高めます。
- 6) 環境・労働安全衛生方針を広く一般に開示します。

サプライヤーとの取引等について、社会常識と誠実さを持って公平かつ公正に行います。

健全な競争関係の維持

- 1) どのような場合でも公正で自由な競争を行う。
- 2) 購買先・下請先との取引に於いては、社会常識と誠実さをもって条件を公平かつ公正に調べ、会社に最良の選択をしなければならない。
- 3) 情報の守秘：業務上、知り得た他社（者）の情報は、業務目的以外に使用せず、第三者に漏洩してはならない。
- 4) 政治・行政との透明な関係：贈賄・利益供与や違法な政治献金はもとより、政治・行政との癒着というような誤解を招きかねない行動はしてはならない。
- 5) 反社会的勢力との関係断絶：反社会的勢力とは一切関係を持ってはならない。反社会的勢力から不当な要求を受けた場合、毅然とした態度で接し、金銭などを渡して解決を図ってはならない。また、反社会的勢力および反社会的勢力と関係ある取引先とはいかなる取引も行ってはならない。
- 6) 輸出入関係法令の遵守：製品を輸出入するときは、法令に従って適切な手続きを取らなければならない。また輸出禁制品の輸出および輸入禁制品の輸入を行ってはならない。

品質

フジクラコンポジットは、企業理念の一環として「品質方針」を定め、この方針に基づいて全社員が行動し、お客様の満足する製品を提供することで、信頼される企業となるように努めています。品質向上は、製品品質だけでなく、あらゆる業務プロセスの質の向上を目指しています。

業務品質向上への取組み

品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を1998年以降、各製品の事業部門で取得し、当社の製品とサービスが、品質の安定、技術開発のスピードアップ、コスト低減などにより、顧客からの一層の信頼を得られるように、あらゆる業務の品質向上を目指して活動を進めています。その結果、新規顧客の増加、海外顧客からの信頼増など、グローバルな取引においても顧客満足度の向上に大きな成果を上げています。

品質方針

「消費者重視」「製品安全の確保」の為に「品質至上」に徹し、優れた製品を提供し社会に貢献する。

常にお客様の満足する製品の提供を目的とする。

エコデザイン（研究開発，複合化技術）

当社の技術は、ゴム引布技術に始まり、今では 7 つの事業領域にて 100 年以上に渡り、蓄積された技術があります。産業用資材からゴルフ用カーボンシャフトに至るまで、様々な生活のシーンにおいて当社の技術が用いられております。これはコーポレートブランドである「フジクラコンポジット」からも分るように、それぞれの技術を複合し、シナジー効果を発揮させ、常に新たな事業領域を模索し、新たな技術を確立してきた証です。

これからも「コンポジット」をキーワードに、複合化技術に磨きをかけ、お客様に信頼される製品を創出していきます。

当社のエンジニアがエンジニアリングセンターに集合し、技術情報の共有化と技術の融合をより一層活性化させ、開発の早期化による新たな事業化を推進しています。

製品を開発する際には環境への影響を配慮して材料設計から生産、使用の過程における環境負荷の低減等まで視野に入れた設計を心掛けています。

とりわけ、環境にも配慮した製品開発を進めるべく、これまで蓄積した自動車関連分野技術とカーボンシャフト技術を融合させ、スポーツ用途以外の分野へのカーボン繊維強化プラスチック（CFRP）製品の事業化を目指しております。CFRP は高強度、高剛性、軽量化等によるエネルギー高効率化が期待されます。



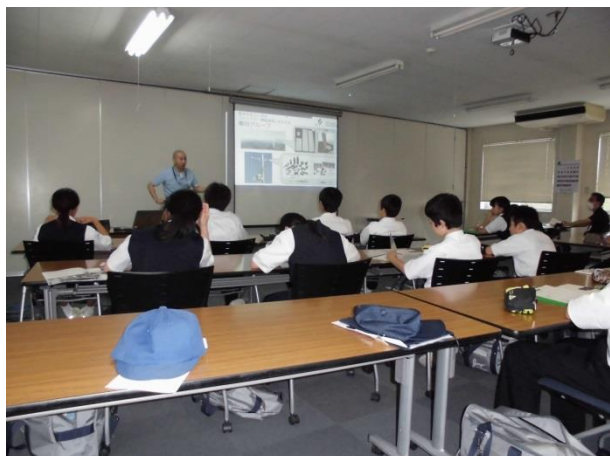
エンジニアリングセンター



CFRP 製品の一例

地域支援

- ・近隣地域の小学校、中学校、高等学校からの工場見学の要請を毎年受け入れています。



- ・埼玉県赤十字血液センターによる献血を毎年継続的に実施しています。



工業団地一斉美化活動

敷地外回りのフェンス及び行動周辺の雑草・空き缶・ペットボトル・枯葉・その他ごみの回収を実施



社会福祉

藤倉学園へ支援

知的障害者支援施設である社会福祉法人「藤倉学園」へ長年に亘り寄付等の支援活動を行っています。藤倉学園は創業者・藤倉善八の実弟である中内春吉が私財を寄付して創設しました。今後も継続的に支援活動を行っていきます。



フジクラ財団へ支援

科学技術の発達奨励を目的として研究助成を主体とした事業を行っている、公益財団法人「フジクラ財団」に寄付等の支援を行っています。

フジクラ財団では、高等専門学校、大学、大学院などから公募し、審査を経て助成先を選定し、研究助成金を給付しています。

ペットボトルのキャップを回収して NPO 法人「エコキャップ推進協会」に提供しています。
 焼却せずリサイクルすることで、環境保全(CO2 削減)や省資源(循環型社会形成)に貢献できます。
 さらに、提供したエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援、ワクチン支援、障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。



地球に未来を、子どもに未来を。エコキャップ運動は NEXT STAGE へ!

エコキャップ運動が始まって約10年が過ぎました。「ペットボトルキャップをリサイクルすることで、CO₂削減が実現され、省資源に貢献できたり、障がい者支援に繋がったり、子どもたちへの環境教育に繋がったり、これからのエコキャップ運動から生まれる様々な社会貢献活動が実現されています。」

「地球に未来を、子どもに未来を。エコキャップ運動は NEXT STAGE へ!」

エコキャップ運動が始まって約10年が過ぎました。「ペットボトルキャップをリサイクルすることで、CO₂削減が実現され、省資源に貢献できたり、障がい者支援に繋がったり、子どもたちへの環境教育に繋がったり、これからのエコキャップ運動から生まれる様々な社会貢献活動が実現されています。」

CO₂の削減
 キャップ CO₂削減
1kg → 3kg
 キャップ1kgをリサイクルすることで、約3kgのCO₂削減が実現されます。

雇用創出
 キャップの回収・分別の仕事を確保し、障がい者・高齢者・若年層に就業機会を提供しています。

再資源化
 キャップの再生原料が様々な製品に生まれ、またさまざまな用途に使って、循環型社会を実現しています。

We are ECOCAP!

エコキャップ推進協会
 ecocap.jp

地球の未来を、子どもの未来をつくる。エコキャップ運動

遊ぶ、働く、人はあらゆるモノ・コトをつくりだします。つくる原点は、「いいモノ・いいコト」。エコキャップ推進協会は、キャップをリサイクルすることで「いいモノ・いいコト」をつくりだすことに貢献しています。ペットボトルのキャップから貴重な資源が生まれ、障がい者の雇用が創られ、そして再生プラスチック製品が作られる。なにげない生活のなかでキャップがらつくられた「いいモノ・いいコト」にたくさん出会っていただけるよう、私たちはエコキャップ運動を推進して参ります。

環境を造る。
 キャップ CO₂削減
1kg → 3kg
 CO₂の削減
 キャップ1kgをリサイクルすることで、約3kgのCO₂削減が実現されます。

仕事を創る。
 雇用創出
 キャップの回収・分別の仕事を確保し、障がい者・高齢者・若年層に就業機会を提供しています。

商品を作る。
 再資源化
 キャップの再生原料が様々な製品に生まれ、またさまざまな用途に使って、循環型社会を実現しています。

We are ECOCAP!

エコキャップ推進協会
 ecocap.jp



藤倉ゴム工業株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC 有明イーストタワー10 階

TEL: 03-3527-8111 FAX: 03-3527-8330

お問い合わせ先：管理本部 CSR 室

発行年月日 2017/7/3